

Si-R G211 V20.07 変更内容一覧

□機能追加・改善

No.	項目	内容
1	dnsproxy処理改善	リスト検索処理改善によるブレイクアウト通信性能向上
2	NXConciergeエージェント機能	管理ポータルへの接続動作の改善 1)管理ポータル側メンテナンス時のログイン不可からの復旧を早期に実施するための構成定義設定コマンドを追加しました。 2)ファームウェア更新後の初回起動時に、SNMP応答メッセージから不要な文字列を削除する。
3	syslog抑止機能	正規表現で指定された文字列を含むsyslogの出力を抑止する構成定義コマンド(syslog filter)を追加しました。
4	toppingコマンド	*tcppingコマンドを追加実装します。
5	ポートフォワーディング機能	・特定のポート番号宛に届いたパケットを、あらかじめ設定しておいた別のアドレスの特定のポートへ自動的に転送する機能を提供します。
6	トラフィック監視機能	・トラフィック量の集計方法改善 ・フェールセーフ対応追加
7	Sflowエージェント	Sflowエージェントサポート
8	NAT拡張	NATテーブル数を拡大 20,000→65,536
9	データ通信モジュール	LTE WiFi USBドングル(Si-L20)サポート

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V20.00～V20.05	backupポート設定をしているポートのvlan定義を動的定義変更すると、vlan定義が反映されないことがある
2	V20.00～V20.05	CSG機能(ProxyDNS/DNS-Snoop)使用時、最大数を超過する動的アドレスが登録できる
3	V20.01～V20.05	management-agent コマンドの設定内容によって、エージェントアプリが停止する場合があります
4	V20.01～V20.05	トラフィック監視機能を有効状態で運用しているとトラフィック監視アプリのコアファイルが作成されることがある。コアファイルの有無はshow system statusコマンドで確認できる。
5	V20.00～V20.05	装置が温度異常を検出時に、誤ってCHKランプが橙点灯する
6	V20.00～V20.05	show trace signalのRSRPの値がプラスで表示されることがある
7	V20.01～V20.05	エンドポイントリスト取得を行うとIPv6通信ができなくなる場合があります

8	V20.00~V20.05	csg list endpointlistコマンドが入力エラーとなる
9	V20.00~V20.05	ether vlan定義がないether 1 1で通信が出来ない
10	V20.00~V20.05	リセットスイッチを短く押下した場合、以降、リセットスイッチが反応しない
11	V20.00~V20.05	ブレイクアウト対象のドメインをIPv6アドレスで名前解決した場合、ブレイクアウト通信ができなくなる ことがある
12	V20.00~V20.05	エンドポイントリスト再取得でブレイクアウト対象通信がブレイクアウトできなくなる ことがある
13	V20.00~V20.05	USB dongleのmodemモジュール使用時にusbctl enable / disableを実施すると通信出来なくなる ことがある
14	V20.00~V20.05	resetを繰り返し行くと、coreファイルができることがある
15	V20.00~V20.05	USBのmodemモジュールの構成定義変更時にプロンプトが出ないことがある
16	V20.00~V20.05	USBメモリのリード/ライト時に、USBランプが点滅しない
17	V20.00~V20.05	ftpで「get reset」を行うと、system downし、coreファイルが作成される
18	V20.00~V20.05	telnet/ssh接続した端末から、usbctl ejectコマンドを実行しても、実行メッセージが表示されない
19	V20.00~V20.05	resetで再起動後にLTE WiFi USB dongle(Si-L10)が link up せず、USBランプが橙点灯状態となる ことがある
20	V20.01~V20.05	NXConciergeエージェントがプロセス再起動する場合がある
21	V20.01~V20.05	NXConcierge利用において管理ポータルとの通信異常検出時に、coreファイルが出力される場合 がある
22	V20.01~V20.05	装置日時情報を過去に戻す事で、coreが出力される場合がある
23	V20.01~V20.05	NXConciergeエージェントが予定時刻にサービスを実行できない場合がある
24	V20.00~V20.05	endpointlistinfoコマンドの設定変更がcommit前に動作に反映されてしまう
25	V20.00~V20.05	endpointlistinfo filterコマンドのmember/パラメータに入力可能文字数の範囲外の文字数を設定し てもエラーとならない
26	V20.00~V20.05	endpointlistinfo url/version-urlコマンドに入力可能文字数の範囲外の文字数入力してもエラーと ならない

27	V20.01~V20.05	トラフィック監視統計情報が正しくカウントされない場合がある
28	V20.00~V20.05	csg listコマンドの定義番号に入力範囲外の値を設定してもエラーとならない
29	V20.01~V20.05	csg listコマンドで同一定義番号に複数の設定ができてしまう
30	V20.00~V20.05	csg list endpointlistコマンド、proxymdns domain endpointlistコマンドのエンドポイントID に範囲外の値が指定できてしまう
31	V20.00~V20.05	reset、select、enterボタンが反応しなくなることがある
32	V20.00~V20.05	proxymdns domainコマンドの設定順序によりエンドポイントリストの名前解決しても動的アドレスが登録されない場合がある
33	V20.00~V20.05	VIDが大きな値のVLANを定義し、show interface summary を実行すると(down code [d4000001:00000000])でシステムダウンする
34	V20.00~V20.05	RNDISのUSBドングルを2本接続状態でusbctl restartを実行時にUSBドングルと有線LANの通信が不可になることがある
35	V20.00~V20.05	内蔵モジュール設定時に3秒程度の通信遅延が発生する
36	V20.00~V20.05	電波状態監視有効時にpseudo-ether定義の動的定義反映を行うと、装置が再起動することがある
37	V20.01~V20.05	Nxconciiergeと連携して実現するトラフィック監視の対象にエンドポイントリストのips情報が重複して登録されてしまうことがある
38	V20.00~V20.05	proxymdnsの設定にdomainlistの設定がない場合、endpointlistのドメインがブレイクアウト対象とならないことがある
39	V20.01~V20.05	運用中にdown code [d4000001:00000000]で装置再起動する場合がある
40	V20.00~V20.05	CSG機能利用時、メモリ枯渇が発生し装置が再起動する可能性がある